



スクールリポート

SCHOOL REPORT 45

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での児童会活動とサイエンスショーの様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

六連小学校「児童会活動」

自信をつけよう！特技発表会

六連小学校では、毎年全校で特技発表会を開いています。この発表会は、子どもたちがグループごとに日ごろの練習の成果や得意なことを発表し合う会です。

今年は、2月7日(火)に、体育館で30組延べ120名の児童と、六連保育園年長児の11名が発表会を行いました。こま回し、竹馬、一輪車、空手、バドミントン、フラフープ、サッカー、ヨーヨー、ピアノなど実にさまざまです。保育園児も跳び箱などの演技をしました。

『子どものときに身につけたことは、大人になっても忘れない』といわれています。また、何か得意なものがあると自信がわいてくるものです。

子どもたちには、人の特技を見て刺激を受け、自分の特技をさらに磨いて欲しいと思っています。



●リンボーダンスで、通れるかな？



●ハンドベルで、きらきら星と聖者の行進を演奏したよ



●バラを液体窒素に入れると、どうなるかな？



●空気砲の発射実験をしたよ！

中山小学校「理科学習」

わくわくどきどき「サイエンスショー」

中山小学校では、昨年から「かかわり 考え 学び合う」をテーマに、理科と生活科の研究を進めています。その取り組みの一つとして、月1回、月曜日の朝会の時間に、「サイエンスショー」を行っています。

1月は「-196℃の世界」と題して、液体窒素にバラの花や風船を入れる実験を行いました。2月は「空気で遊ぼう」と題して、ドライヤーの風力でカップ麺の入れ物を浮かせたり、巨大空気砲で煙の形を変えたりする実験をしました。

子どもたちは、毎回、目を輝かせ、身を乗り出して、色々な実験に歓声をあげています。これからも月1回、子どもたちが、楽しく、わくわくするような実験を計画しています。このサイエンスショーを通して、子どもたちの科学への興味関心が、もっともっと深まっていくことを願っています。